

## 「OPEN SITE 5」企画決定！



あらゆる表現活動が集まるプラットフォームの構築を目指し、2016年より始まったトーキョーアーツアンドスペース(TOKAS)の企画公募プログラム「OPEN SITE」の2020年度実施企画が決定しました。今年3月から4月にかけて実施した公募では、国内外から161企画が集まり、書類審査と面接審査を経て展示部門4企画、パフォーマンス部門3企画、dot部門2企画を選出しました。さらにTOKAS推奨企画を加え、2020年11月から2021年2月まで2会期にわたり開催します。ジャンルを超えた創造の場にご期待ください！

## ■ 開催概要

プログラム名： OPEN SITE 5 ※今年度よりプログラム名を年次から通算実施回に改めて開催します。  
実施期間： Part 1 2020年11月21日(土)～12月20日(日)  
Part 2 2021年1月9日(土)～2月7日(日)  
会場： トーキョーアーツアンドスペース本郷(東京都文京区本郷2-4-16)  
休館日： 月曜日(ただし11月23日、1月11日は開館)、11月24日(火)、1月12日(火)、  
年末年始および展示替え期間(2020年12月21日～2021年1月8日)  
主催： 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館 トーキョーアーツアンドスペース  
ウェブサイト： [www.tokyoartsandspace.jp/](http://www.tokyoartsandspace.jp/)

## ■ 募集概要

募集期間： 2020年3月3日(火)～3月24日(火)  
応募総数： 161企画  
審査員： 小林晴夫(BlanClass ディレクター)  
畠中実(NTTインターコミュニケーション・センター[ICC] 主任学芸員)  
久野敦子(公益財団法人セゾン文化財団 プログラム・ディレクター)  
近藤由紀(トーキョーアーツアンドスペース プログラム・ディレクター)

## &lt; お問い合わせ &gt;

〒135-0022 東京都江東区三好4-1-1 東京都現代美術館内

トーキョーアーツアンドスペース(公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館) 広報担当：市川、武智

TEL：03-5245-1142 FAX：03-5245-1154 E-mail：press@tokyoartsandspace.jp

## ■ 実施企画

- ◆「OPEN SITE 5」では、企画の内容に合わせて3部門の実施形態を設定しています。
- ◆各企画のタイトル等詳細は変更となる場合があります。

### 【展示部門】

開館時間内（11:00 - 19:00）であればいつでも入場できます。予約不要、入場無料。

各会期初日には公募審査員をゲストに迎え、オープニング・トークを実施します。

Part 1   2020年11月21日（土）～12月20日（日）	
企画者	大岩雄典
企画名	「バカンス」
概要	〈インスタレーション〉と〈ステートメント〉を、それぞれ時空間を編集する技術、パーティの意味を組織する技術と解釈する。これら二つの営為を結びつける〈キュレーション〉を加えた三つの概念を、現代社会・政治のひとつの「形＝比喻」として考察し、提示する。
企画者	権瓶千尋＋森岡美樹
企画名	「声になるまえ(仮)」
概要	言葉は何かを明らかにする一方で、何かを隠してしまう、という問題を共有する二人のアーティストによる展示。ことばによって定められる前の思考や現象は、一体どんなかたちをしているのか。現代社会における「ことば以前」を模索する。
Part 2   2021年1月9日（土）～2月7日（日）	
企画者	上村洋一、黒沢聖覇、高木遊
企画名	「冷たき熱帯、熱き流氷」
概要	オホーツク海の流氷の調査と制作を行う上村と、ブラジルのアマゾン地域の自然環境や文化をリサーチした黒沢が、対極する互いの調査対象を統合することで、惑星規模のエコロジー危機において現代社会で失われつつある感性を高め新しい環境観を志向する共同調査・制作プロジェクト。共同キュレーションを高木が務める。
企画者	飯沼珠実
企画名	「建築のことばを探す 多木浩二の建築写真」
概要	評論家の多木浩二が「建築について書きためのメモ」として撮影した建築写真について、アーティストである飯沼が2017年より開始した研究調査のリサーチ発表展。長年、未発表だった多木の数多くの写真を敢えて公開する行為をとおして、対話の場の創出を目指す。

## 【パフォーマンス部門】

会期中、特定の日時に上演します。鑑賞には事前予約と入場料が必要です。

実施日程や入場料金、予約方法等の詳細は、後日 TOKAS のウェブサイトおよびチラシにて発表します。

Part 2   2021 年 1 月 11 日 (月) ~1 月 17 日 (日)	
企画者	どうぶつえん (代表: Aokid)
企画名	「どうぶつえん 2016~2020 in TOKAS(仮)」
出演者	Aokid、たくみちゃん、米澤一平、濱田明李、朴 建雄、武田 龍 他
概要	さまざまなジャンルのアーティストが公園内を移動しながら、その場に居合わせた人たちをも巻き込んでパフォーマンスやワークショップを行う「どうぶつえん」。2016 年以降、代々木公園を中心に 10 回以上実施した記録を振り返り、今後の活動の可能性を考える複合的イベント。
Part 2   2020 年 1 月 26 日 (火) ~1 月 31 日 (日)	
企画者	ブルーエゴナク (代表: 穴迫信一)
企画名	「Coincide 同時に起こること」
出演者	ブルーエゴナク 他
概要	穴迫が東京、京都、北九州の各地で俳優と滞在制作をしながら、個別の記憶や風景をもとに創出する各一編のテキストから、言語によるドラマの誘引性とその可能性を検証、発表する。
Part 2   2020 年 2 月 2 日 (火) ~2 月 7 日 (日)	
企画者	y/n (代表: 橋本 清)
企画名	「セックス／ワーク／アート (仮)」
出演者	橋本 清、山崎健太
概要	自らの身体を媒体とした客とのコミュニケーションを仕事とする俳優とセックスワーカー。二つの職業の共通点と差異から、金銭を介した観客との関係を問い直すレクチャーパフォーマンス。

## 【dot】

会期中、特定の日時に実施します。事前予約の有無は企画により異なります。入場無料。

Part 1   2020年11月23日(月)～11月29日(日)	
企画者	パレイドリアン(代表: 鐘ヶ江織代)
企画名	「聴衆のいない演奏会—転倒する<作曲・演奏・聴取>」
出演者	山本和智、眞崎光司、鐘ヶ江織代
概要	参加者に現代音楽の不可解さを積極的に提示することで、各自が困惑、葛藤しながらも音楽作品への向き合い方を見出し、その魅力に触れる機会を創出するワークショップ。
Part 1   2020年12月15日(火)～12月20日(日)	
企画者	Back and Forth Collective(代表: 滝 朝子)
企画名	「Back and Forth Collective」
出演者	坂本夏海、滝 朝子、本間メイ
概要	社会的トピックと日常の繋がりに関心をもつメンバーからなるコレクティブ。特に世界各地のジェンダー／フェミニズムに焦点を当て、アーティストたちのアプローチ方法を紹介し、今後のコレクティブのあり方を模索する。

## 【TOKAS 推奨プログラム】

開館時間内(11:00 - 19:00)であればいつでも入場できます。予約不要、入場無料。

Part 1   2020年12月1日(火)～12月13日(日)	
企画者	クロエ・デランへ Chloë DELANGHE(ベルギー)
企画名	「Minnebrieven(ミネブリーヴェン)(Love letters)」
概要	2019年TOKASレジデンス・プログラム参加クリエイターのクロエ・デランへが滞在中に制作した映像作品を発表する。日本の都市部に生息する動物と人間との関係性をテーマに、ドキュメンタリーのようなかたちで生き物の肖像を描くことで、カメラの媒介性や孤独、疎外感、愛について探究する。